

平成18年度（第36回）
情報処理検定試験
〈ビジネス情報部門〉
第1級 筆記試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 6 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は30分です。

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. NICなどのネットワーク機器に割り当てられている固有の番号。通信の際に、パケットのあて先を指定するために使用される。
2. パソコンに接続された周辺装置の制御や管理を行うプログラム。パソコンの電源が入るとOSより先に起動される。
3. 複数の端末装置から通信回線を経由して送られてくる要求をホストコンピュータで処理し、結果をすぐに端末装置に返す処理方式。銀行のATM（現金自動預払機）やオンライン座席予約システムなど、データベースシステムにこの方式が用いられることが多い。
4. コンピュータをネットワークに接続する際に、IPアドレスなどを自動的に割り当てるプロトコル。
5. ブラウザから閲覧するためのHTMLファイルを格納しているサーバ。

解答群

ア. トポロジ	イ. OLTP	ウ. Webサーバ
エ. ゲートウェイ	オ. POPサーバ	カ. サブネットマスク
キ. UPS	ク. VOIP	ケ. MACアドレス
コ. DHCP	サ. BIOS	シ. ストリーマ

【2】 次の文の（ 1 ）から（ 5 ）に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

コンピュータシステムは、さまざまな角度から評価を行い、性能維持や改善を図りながら運用する。システムがある時点で正常に稼働している確率を表す稼働率は、信頼性を評価する観点として代表的なものであり、この数値が大きいほど可用性が高いといえる。稼働率は、コンピュータシステムが故障から復旧し、次に故障するまでの平均時間を表す（ 1 ）と、故障を修復するためにかかる平均時間を表す（ 2 ）を用いて計算する。（ 1 ）の値が大きいほど安定したシステムで信頼性が高く、（ 2 ）の値が小さいほど保守性が高いといえる。この信頼性、可用性、保守性の3つに保全性、機密性を加えた5つの評価項目をまとめて（ 3 ）と呼ぶ。

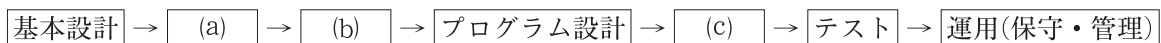
また、処理時間については、一定時間内に処理できる仕事量や伝達できる情報量を表す（ 4 ）、処理を指示してからすべての実行結果が得られるまでの時間を表す（ 5 ）などで評価することができる。

解答群

ア. MTBF	イ. MIPS	ウ. EOS
エ. クロック周波数	オ. レスポンスタイム	カ. スループット
キ. MTTR	ク. ターンアラウンドタイム	ケ. RAID
コ. DAT	サ. ISP	シ. RASIS

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 次の図は、ウォータフォールモデルによるシステム開発の順序を表したものである。空欄(a)～(c)にあてはまる適切な組み合わせを答えなさい。



ア. (a) 外部設計	(b) 内部設計	(c) プログラミング
イ. (a) 内部設計	(b) プログラミング	(c) 外部設計
ウ. (a) 内部設計	(b) 外部設計	(c) プログラミング

2. パソコンの操作手順をあらかじめ登録しておき、必要なときに呼び出して使用する機能。表計算やワープロなどのアプリケーションソフトウェアで利用できる。

ア. 再計算機能	イ. SSL	ウ. マクロ機能
----------	--------	----------

3. 企業内のEUCを利用者側の立場から推進するリーダー。

ア. EUD	イ. SAD	ウ. ISO
--------	--------	--------

4. 暗号化と復号に同一の鍵を用いる方式。共通鍵暗号方式とも呼ばれる。

ア. 電子署名	イ. 公開鍵暗号方式	ウ. 秘密鍵暗号方式
---------	------------	------------

5. 通信速度が100Mbpsの回線を用いて、1分間でダウンロードできるデータ量を計算しなさい。なお、伝送効率は80%とし、その他の外部要因は考えないものとする。

ア. 600MB	イ. 750MB	ウ. 4,800MB
----------	----------	------------

【5】 次の表は、ある中華街の店舗情報検索表である。処理条件にしたがって、各問いの答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、問4については数値を答えなさい。

シート名「検索表」

A	B	C	D
1	中華街 店舗情報検索表		
2	1. 料理の種類と一人あたりの料金を検索		
3	料理コード <input type="text" value="F"/> 入力欄 出力欄		
4	利用日 <input type="text" value="2007/1/22"/>		
5	該当店舗数 <input type="text" value="2"/>		
6	候補一覧表		
7	候補番号 店名 料金		
8	1 中華園 2,850		
9	2 慶昌楼 5,400		
10	3		
11	4		
12	5		
13	2. 候補の詳細情報		
14	候補番号 <input type="text" value="1"/> の詳細情報		
15	詳細情報1 和室 <input type="text" value="なし"/>		
16	詳細情報2 個室 <input type="text" value="あり"/>		
17	詳細情報3 貸切 <input type="text" value="可"/>		
18	詳細情報4 駐車場 <input type="text" value="東駐車場割引なし"/>		

シート名「店舗表」

A	B	C	D	E	F	G	H	
1	店舗表							
2	店コード	店名	標準料金	割引率	和室	個室	貸切	駐車場コード
3	F1	中華園	3,000	5%	なし	あり	可	1
4	F2	慶昌楼	6,000	10%	なし	なし	不可	2
5	K1	謝楽	5,000	10%	なし	あり	可	1
6	K2	新楽飯店	6,000	5%	あり	あり	不可	2
7	P1	青海楼	2,500	20%	あり	あり	可	1
8	P2	太平飯店	4,500	5%	なし	なし	可	2
9	P3	天福菜館	5,000	10%	なし	あり	不可	3
10	P4	丸兆	6,000	20%	なし	あり	可	1
11	H1	玉江飯店	3,200	10%	なし	あり	不可	3
12	H2	翠嵐新館	3,500	20%	あり	あり	可	1
13	H3	萬商園	4,000	10%	あり	なし	可	2
14	H4	福永飯店	7,000	20%	あり	あり	不可	1
15	H5	永楽飯店	8,000	20%	あり	あり	不可	2
16	T1	新進本館	4,000	10%	あり	なし	不可	2
17	T2	新進新館	7,000	5%	なし	あり	可	1
18	Y1	明治精	3,500	20%	なし	あり	可	2
19	Y2	後楽園	4,000	5%	なし	なし	不可	1
20	Y3	白鳳本館	4,500	10%	あり	なし	可	3

(注) 2007年1月22日は月曜日である。

シート名「駐車場表」

A	B	C	D	E
1	駐車場表			
2	料金			
3	0 以上3,000未満			
4	3,000 以上5,000未満			
5	5,000 以上7,000未満			
6	7,000 以上			
7	駐車場コード			
8	1 2 3			
9	東駐車場1時間無料 中央駐車場1時間無料 西駐車場1時間無料			
10	東駐車場2時間無料 中央駐車場1時間無料 西駐車場2時間無料			
11	東駐車場3時間無料 中央駐車場1時間無料 西駐車場2時間無料			

(注) C5～E8は、駐車場名と割引時間が記入されている。

処理条件

- シート名「検索表」のC6、C7およびC18に適切なデータを順に入力すると、条件にあった店舗を検索することができる。
- シート名「店舗表」のA列の「店コード」は、左端の1文字がシート名「検索表」の料理コードを示し、右端の1文字が候補番号を示している。
- シート名「検索表」は、次のように作成されている。

料理コード	F	H	K	P	T	Y
料理種別	福建	四川	広東	北京	台湾	上海

 - C6の「料理コード」の入力欄は、希望する料理種別の料理コードを、料理コード表をもとに入力する。
 - C7の「利用日」の入力欄は、利用日を入力する。
 - D8の「該当店舗数」は、C6の「料理コード」をもとに、シート名「店舗表」を参照して、該当する料理コードを含む「店コード」の店舗数を求める。ただし、C6の「料理コード」が未入力の場合、または該当するデータがない場合は0を表示する。
 - C11～C15の「店名」は、C6の「料理コード」とB11～B15の「候補番号」をもとに、シート名「店舗表」を参照して表示する。ただし、D8の「該当店舗数」が0、または該当するデータがない場合は何も表示しない。
 - D11～D15の「料金」は、C6の「料理コード」とB11～B15の「候補番号」をもとに、シート名「店舗表」を参照して次の条件で求める。ただし、C11～C15の「店名」が空欄の場合は何も表示しない。
 - 「利用日」が土曜日または日曜日の場合は、C列の「標準料金」を表示する。
 - 「利用日」が月曜日から金曜日の場合は、C列の「標準料金」とシート名「店舗表」のD列の「割引率」で割引額を求め、標準料金から割引額を引いて求める。
 - C18の「候補番号」の入力欄は、詳細情報の表示を希望するB11～B15の「候補番号」を入力する。
 - D20～D22の「和室」、「個室」、「貸切」の出力欄は、C6の「料理コード」とC18の「候補番号」をもとに、シート名「店舗表」を参照して表示する。ただし、C6の「料理コード」、C18の「候補番号」が未入力、または該当するデータがない場合は何も表示しない。
 - D24の「駐車場」は、C6の「料理コード」とC18の「候補番号」をもとに、シート名「店舗表」を参照し、求めた「駐車場コード」と、シート名「検索表」のD11～D15の「料金」をもとに、シート名「駐車場表」を参照して、駐車場名と割引時間を表示する。

問1. シート名「検索表」のD8に設定する式の空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。

=IF(C6="", 0, COUNTIF(店舗表!A4:A21,))

ア. "?"&C6

イ. "*"&C6

ウ. C6&"*"

問2. シート名「検索表」のC11に設定する式の空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。ただし、この式をC15までコピーするものとする。

=IF(OR(\$D\$8=0,) , "", VLOOKUP(\$C\$6&\$B11, 店舗表!\$A\$4:\$H\$21, 2, FALSE))

ア. \$D\$8=\$B11

イ. \$D\$8<\$B11

ウ. \$D\$8>\$B11

(注) FALSEは0でも可。

問3. シート名「検索表」のD11に設定する式を答えなさい。ただし、この式をD15までコピーするものとする。

ア. =IF(C11="", "", IF(WEEKDAY(\$C\$7, 2)>=6, VLOOKUP(\$C\$6&\$B11, 店舗表!\$A\$4:\$H\$21, 3, FALSE), VLOOKUP(\$C\$6&\$B11, 店舗表!\$A\$4:\$H\$21, 3, FALSE)*(1-VLOOKUP(\$C\$6&\$B11, 店舗表!\$A\$4:\$H\$21, 4, FALSE))))

イ. =IF(C11="", "", IF(WEEKDAY(\$C\$7, 2)>=6, VLOOKUP(\$C\$6&\$B11, 店舗表!\$A\$4:\$H\$21, 3, FALSE), VLOOKUP(\$C\$6&\$B11, 店舗表!\$A\$4:\$H\$21, 3, FALSE)*(VLOOKUP(\$C\$6&\$B11, 店舗表!\$A\$4:\$H\$21, 4, FALSE)-1)))

ウ. =IF(C11="", "", IF(WEEKDAY(\$C\$7, 2)>=6, VLOOKUP(\$C\$6&\$B11, 店舗表!\$A\$4:\$H\$21, 3, FALSE), VLOOKUP(\$C\$6&\$B11, 店舗表!\$A\$4:\$H\$21, 3, FALSE)*VLOOKUP(\$C\$6&\$B11, 店舗表!\$A\$4:\$H\$21, 4, FALSE)))

(注) WEEKDAY関数は、戻り値として1(月曜日)～7(日曜日)を返す。

問4. シート名「検索表」のD20に設定する式の空欄にあてはまる1けたの数値を答えなさい。ただし、この式をD22までコピーするものとする。

=IF(OR(\$C\$6="", \$C\$18="", \$C\$18>\$D\$8), "", VLOOKUP(\$C\$6&\$C\$18, 店舗表!\$A\$4:\$H\$21, VALUE(RIGHT(B20, 1))+, FALSE))

問5. シート名「検索表」の入力欄に、次のようなデータを入力したとき、D24の「駐車場」に表示される文字列として適切なものを答えなさい。なお、2007年3月2日は金曜日である。

	A	B	C	D
1				
2		中華街 店舗情報検索表		
3				
4		1. 料理の種類と一人あたりの料金を検索		
5			入力欄	出力欄
6		料理コード	<input type="text" value="P"/>	
7		利用日	<input type="text" value="2007/3/2"/>	
8			該当店舗数	※
9		候補一覧表		
10		候補番号	店名	料金
11		1	※	※
12		2	※	※
13		3	※	※
14		4	※	※
15		5	※	※
16				
17		2. 候補の詳細情報		
18		候補番号	<input type="text" value="3"/>	の詳細情報
19				
20		詳細情報1	和室	※
21		詳細情報2	個室	※
22		詳細情報3	貸切	※
23				
24		詳細情報4	駐車場	※

ア. 中央駐車場 1 時間無料

イ. 西駐車場 1 時間無料

ウ. 西駐車場 2 時間無料

(注) ※印は、値の表記を省略している。

【6】 ある弁当店では、得意先の弁当販売代金を1か月分まとめて計算し、各得意先の担当者あてに請求している。毎月の得意先別販売状況は、次のようなりレーショナル型データベースを利用して管理している。次の各問の答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

(注文を受けると、得意先ごとに記入)

売上傳票			No.1083
日	付：2007年1月19日		
	得意先コード：FC1021		
No.	商品コード	数量	
1	S01	14	
2	L01	2	
合計		16	

(翌月初めに、前月1か月分の注文をまとめて発行)

請求書		朝日物産 前島 ○○ 様	2007年2月1日		
ご請求金額 <u>¥125,800-</u>					
2007年1月分のご請求明細は次のとおりです。					
No.	商品コード	商品名	数量	単価	金額
1	H01	日替わりA	28	500	14,000
2	S01	季節弁当A	14	550	7,700
合計					125,800

得意先表

得意先コード	得意先名	担当者名	連絡先
FC1021	朝日物産	前島 ○○	042-333-XXXX
FC1022	若松会計事務所	岡部 ○○	042-357-XXXX
FC1023	浅間商事	奥村 ○○	080-5563-XXXX
FC1024	紅葉運送	青山 ○○	090-5299-XXXX
FC1025	小柳産業	二田 ○○	042-388-XXXX
FC1026	多磨工業	西山 ○○	042-348-XXXX
KG1011	前原設計事務所	吉村 ○○	050-1717-XXXX

商品表

商品コード	商品名	単価
H01	日替わりA	500
H02	日替わりB	400
S01	季節弁当A	550
S02	季節弁当B	450
L01	レディス弁当	380
C01	中華ランチ	420
K01	カレー弁当	400
W01	おにぎりセット	350

売上表

伝票番号	売上日	得意先コード	商品コード	数量
1081	070119	FC1023	H01	8
1081	070119	FC1023	S02	2
1081	070119	FC1023	W01	3
1082	070119	KG1011	C01	5
1083	070119	FC1021	S01	14
1083	070119	FC1021	L01	2
1084	070120	FC1024	S01	7
1084	070120	FC1026	H02	26

(注) 売上表の「売上日」は、6けたの文字を用いる。

例：'070119' は2007年1月19日を表す。

問1. 浅間商事の担当者が異動し、担当者名を 相川 ○○ に変更することになった。空欄(a), (b)にあてはまる適切な組み合わせを答えなさい。

UPDATE (a) SET (b) WHERE 得意先コード = 'FC1023'

- ア. (a)担当者名 (b) '相川 ○○'
- イ. (a)担当者名 = '相川 ○○' (b)得意先表
- ウ. (a)得意先表 (b)担当者名 = '相川 ○○'

問2. 2007年1月における得意先ごとの販売金額一覧表を作成する場合のSQL文について、次の(1), (2)に答えなさい。

(1) 次のように、すべての得意先についての販売金額一覧表を作成する場合、空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。

```
SELECT 得意先名, SUM(数量*単価) AS 金額
FROM 得意先表, 売上表, 商品表
WHERE 得意先表.得意先コード = 売上表.得意先コード
      AND 売上表.商品コード = 商品表.商品コード
      AND 売上日 LIKE '0701%' 
```

- ア. ORDER BY 金額
- イ. ORDER BY 得意先コード
- ウ. GROUP BY 得意先名

得意先名	金額
}	}
朝日物産	125800
若松会計事務所	88760
浅間商事	114350
紅葉運送	40550
小柳産業	25600
多磨工業	225400
前原設計事務所	63000
}	}

(2) (1)のSQL文に、販売金額が¥100,000以上の得意先を抽出するための条件を加える場合、(1)のSQL文の最後に追加する文として適切なものを答えなさい。

- ア. HAVING SUM(数量*単価) >= 100000
- イ. IN SUM(数量*単価) >= 100000
- ウ. HAVING 数量*単価 >= 100000

得意先名	金額
}	}
朝日物産	125800
浅間商事	114350
多磨工業	225400
}	}

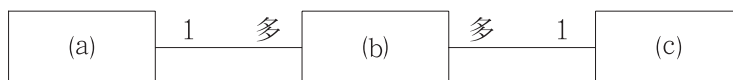
問3. 2007年1月中に販売した商品名を求める場合、空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。ただし、重複行は取り除くこと。

```
SELECT  商品名
FROM 売上表, 商品表
WHERE 売上表.商品コード = 商品表.商品コード
      AND 売上日 BETWEEN '070101' AND '070131'
```

- ア. COUNT
- イ. DISTINCT
- ウ. INSERT

問4. リレーショナル型データベースを設計する際、E-R図を用いてデータの関連性（エンティティ、リレーションシップ、アトリビュートの各要素）をモデル化する。

次の図は、3つの表のリレーションシップを表したE-R図である。空欄(a)~(c)にあてはまる適切な組み合わせを答えなさい。



- ア. (a)得意先表 (b)商品表 (c)売上表
- イ. (a)売上表 (b)得意先表 (c)商品表
- ウ. (a)得意先表 (b)売上表 (c)商品表

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成18年度 (第36回) 情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 筆記
解 答 用 紙

【1】

1	2	3	4	5

【2】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【3】

1	2	3	4	5

【4】

問1	問2	問3	問4	問5

【5】

問1	問2	問3	問4	問5

【6】

問1	問2		問3	問4
	(1)	(2)		

試験場校名	受験番号

得点合計

平成18年度（第36回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 筆記 審査基準

【1】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	ケ	サ	イ	コ	ウ	

【2】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各2点 計10点
	ア	キ	シ	カ	ク	

【3】	1	2	3	4	5	各4点 計20点
	ア	ウ	イ	ウ	ア	

【4】	問1	問2	問3	問4	問5	各4点 計20点
	ア	ウ	2	イ	ア	

【5】	問1	問2	問3	問4	問5	各4点 計20点
	ウ	イ	ア	4	イ	

【6】	問1	問2		問3	問4	各4点 計20点
		(1)	(2)			
	ウ	ウ	ア	イ	ウ	

試験場校名	受験番号

得点合計
100

2007年 1 月21日実施

平成18年度（第36回）

情報処理検定試験
〈ビジネス情報部門〉
第1級 実技試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 監督者の指示にしたがって、シート 4 の A 1 のセルに受験番号を入力してください。
3. 試験問題は 2 ページあります。
4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
5. 制限時間は30分です。

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

ある海産物業者は、あわびとさざえを買い付けて販売している。本日買い付けたあわびとさざえのうち、LサイズとMサイズは契約しているホテルと料理店に販売し、Sサイズはあわびとさざえを2種類のセットにして直売所で販売する。本日の買付表から、販売額が最も大きくなるように本日の販売計画書を作成することになった。処理条件にしたがって、シート1からシート4を作成しなさい。なお、各シートの※印の部分は資料をもとに入力し、※※印の部分は関数やアプリケーションソフトのデータ集計・分析機能などを利用して作成すること。また、シート4のA1のセルに受験番号が入力されているか確認しなさい。

資料1 種類コード表

種類コード	種類名
AW	あわび
SZ	さざえ

資料2 買付表

No	買付コード	種類名	サイズ
1	SZM	さざえ	M
2	AWM	あわび	M
3	SZM	さざえ	M
4	SZS	さざえ	S
}	}	}	}
497	SZM	さざえ	M
498	AWS	あわび	S
499	SZL	さざえ	L
500	SZS	さざえ	S

資料3 L, Mサイズの売値表

種類名	売値(円)	
	L	M
あわび	2,000	1,500
さざえ	200	160

資料4 Sサイズのセット表

種類名\セット名	海の幸	海の恵
あわび(個)	4	2
さざえ(個)	2	10
セット売値(円)	4,000	3,000

処理条件

- 表の形式および体裁は、次ページのシート1からシート4を参考にして設定する。
設定する書式：罫線、列幅、数値につける3けたごとのコンマ
- シート1は、次のように作成する。
B列の「種類名」の※印の部分は、資料1のデータを入力する。なお、種類コードは半角英字である。
- シート2は、次のように作成する。
 - 検定試験開始前に提供されたデータを使用する。
 - C列の「種類名」の※※印の部分は、B列の「買付コード」の左端から2文字をもとにシート1の「種類コード表」を参照して表示する。
 - D列の「サイズ」の※※印の部分は、B列の「買付コード」の右端の1文字を抽出する。
- シート3は集計作業用シートで、次のように作成する。
シート2のデータをアプリケーションソフトのデータ集計機能を利用して集計する。
- シート4は、次のように作成する。
 - 「1. 買付数集計表」は、シート3から必要な部分をコピーして、値を貼り付ける。
 - 「2. Lサイズの販売表」は、次のように作成する。
 - C列の「買付数」は、「1. 買付数集計表」の適切な数値を表示する。
 - D列の「売値」の※印の部分は、資料3のデータを入力する。
 - E列の「金額」は、「買付数 × 売値」の式で求める。
 - 15行目の「合計」は、13~14行目の合計を求める。
 - 「3. Mサイズの販売表」は、「2. Lサイズの販売表」と同様に作成する。
 - 「4. Sサイズの販売表」は、次のように作成する。
 - C25~D27の※印の部分は、資料4のデータを入力する。
 - E25の「計」は、次の式を入力しておく。
「海の幸のあわびの個数 × 海の幸のセット数 + 海の恵のあわびの個数 × 海の恵のセット数」
E25の設定例：=C25*\$C\$28+D25*\$D\$28
 - E26~E27の「計」は、E25と同様の式を入力しておく。
E26~E27の設定例：E25の式をコピーする。
 - F列の「買付数」は、「1. 買付数集計表」の適切な数値を表示する。
 - C28~D28の「セット数」は、E25~E26の「計」がF25~F26の「買付数」以下で、E27の「計」が最大になるようにアプリケーションソフトのデータ分析機能を利用して求める。
設定例 目的セル：E27 目標値：最大値 変化させるセル：C28~D28
制約条件：E25はF25以下、E26はF26以下、C28~D28は整数、C28~D28は0以上
 - G列の「残数」は、「買付数 - 計」の式で求める。
 - 「5. 本日の販売計画額」は、「2. Lサイズの販売表」~「4. Sサイズの販売表」の販売額の合計を求める。ただし、残数は販売しないものとする。
 - グラフは、「1. 買付数集計表」のサイズ別総計と「2. Lサイズの販売表」~「4. Sサイズの販売表」の販売額から作成する。
 - グラフの※※印の部分は、表に入力された値を表示する。
 - 割合の数値軸は、目盛りの最小値(0%)、最大値(100%)および間隔(20%)を設定する。
 - 凡例の位置、数値軸ラベルの方向を設定する。
- シート4を報告書として印刷する。

	A	B
1	種類コード表	
3	種類コード	種類名
4	AW	※
5	SZ	※

(シート1)

	A	B	C	D
1	買付表			
3	No	買付コード	種類名	サイズ
4	1	SZM	さざえ	M
5	2	AWM	※※	※※
6	3	SZM	※※	※※
7	4	SZS	※※	※※
500	497	SZM	※※	※※
501	498	AWS	※※	※※
502	499	SZL	※※	※※
503	500	SZS	※※	※※

(シート2)

	A	B	C	D	E
1	データの個数 / 買付コード				
3	種類名	L	M	S	総計
4	あわび	13	※※	※※	※※
5	さざえ	※※	※※	214	※※
6	総計	※※	148	※※	500

(シート3)

	A	B	C	D	E	F	G
1	本日の販売計画書						
2							
3							
4	1. 買付数集計表						
5	種類名		サイズ			総計	
6			L	M	S		
7	あわび		13	※※	※※	※※	
8	さざえ		※※	※※	214	※※	
9	総計		※※	148	※※	500	
10							
11	2. Lサイズの販売表						
12	種類名	買付数	売値	金額			
13	あわび	13	※	26,000			
14	さざえ	※※	※	※※			
15			合計	※※			
16							
17	3. Mサイズの販売表						
18	種類名	買付数	売値	金額			
19	あわび	※※	※	※※			
20	さざえ	※※	※	※※			
21			合計	65,220			
22							
23	4. Sサイズの販売表						
24	種類名	海の幸	海の恵	計	買付数	残数	
25	あわび	※	※	※※	※※	1	
26	さざえ	※	※	※※	214	※※	
27	セット売値	※	※	※※			
28	セット数	※※	※※				
29							
30	5. 本日の販売計画額						
31	※※		円				
32							
33							
34							
35							
36							
37	サイズ別買付数と販売額の割合						
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							

(シート4)

試 験 場 校 名	受 験 番 号

得 点 合 計

平成18年度 (第36回) 情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 実技

審査基準

	A	B	C	D	E	F	G
--	---	---	---	---	---	---	---

本日の販売計画書

1. 買付数集計表

種類名	サイズ			総計
	L	M	S	
あわび	13	31	65	109
さざえ	60	117	214	391
総計	73	148	279	500

2. Lサイズの販売表

種類名	買付数	売値	金額
あわび	13	2,000	26,000
さざえ	60	200	12,000
合計			38,000

3. Mサイズの販売表

種類名	買付数	売値	金額
あわび	31	1,500	46,500
さざえ	117	160	18,720
合計			65,220

4. Sサイズの販売表

種類名	海の幸	海の恵	計	買付数	残数
あわび	4	2	64	65	1
さざえ	2	10	212	214	2
セット売値	4,000	3,000	84,000		
セット数	6	20			

5. 本日の販売計画額

187,220円

注2 サイズ別買付数と販売額の割合

注1: 割合 (Y-axis label)
 注2: 目盛り (Y-axis ticks)
 注3: 種類 (Stacked bar legend)
 注4: 項目軸ラベル (X-axis labels)
 注5: データラベル (Sales amount label)
 注6: 凡例 (Legend)

配点 ①表の作成 () の箇所) 5点×12箇所=60点
 注 罫線は含まない。数値は、3けたごとにコンマをつけていること。
 ②罫線 2. Lサイズの販売表..... 5点×1箇所=5点
 ③グラフの作成 () の箇所) 5点×7箇所=35点
 注1 数値軸ラベルは、方向、文字が正しく設定されていること。
 注2 目盛りは、最小値(0%)、最大値(100%)および間隔(20%)が正しく設定されていること。
 注3 種類は、100%積み上げ縦棒グラフで、値が正しく表示され、重ね順が正しく設定されていること(左右の位置は問わない)。
 注4 項目軸ラベルは、文字および位置(買付数が左、販売額が右)が正しく設定されていること。
 注5 データラベルは、値(38,000)が正しく表示されていること(上下および左右の位置は問わない)。
 注6 凡例は、位置(グラフの右側)および文字が正しく設定されていること(上下の順序は問わない)。

※ 審査にあたっては、「審査上の注意事項」をあわせて参照してください。